

12月号パラパニュース

特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟

事務局：〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2-4F

電話：03-6229-5423、FAX：03-6229-5420

メール：jppf.jimu@gmail.com

ホームページ：<http://jppf.jp/>

□パラ・パワーリフティングとは？

11月に引き続き、今月も、各地で体験会、普及練習会、などが、毎週待つありました。

写真上；神奈川県厚木市で、神奈川から助成を受けているパラ・アスリートのトークショー（左からパラ・パワーの三浦選手、陸上、女子バスケの選手。）

写真下左；東京都障がい者スポーツ協会では、育成事業を行っており、育成事業に選ばれた選手、初心者が、サ



プリメントの勉強、トレーニングの勉強、一緒にトレーニングすることの楽しみを味わいました。

写真下右；HNK 神奈川主催の体験会。佐野選手、松本選手がデモンストレーションを行いました。

一人、一人と、パラ・パワーリフティングのことを伝えています。東京パラまでに、出来る限りの人にパラ・パワーを紹介したいところです。





京王観光主催の駅伝大会が味の素スタジアムで開催。合わせて、パラ・パワーの体験会を開催させていただきました。

佐野選手がリードして、小学生が、パラ・パワーに挑む。パワーハウスの方々にも補助員として助けていただきました。

東京都渋谷、井の頭線とJR山手線を結ぶ通路で、パラ・スポーツ紹介&体験会。人通りの多い中で、二週間、毎日日替わりで、パラ・スポーツの紹介イベントが行われました。「アスリートはあなたのエールを待っている」都言う、チームビヨンドの旗に、宇城選手がサインをする。



京都岡崎で開催された、バリコレイベント。バリヤフリーのファッションショーの一貫。京都を拠点とするパラスポーツ、パラ・フェンシングと、パラ・パワーのベンチ台を展示。道行く人に、パラスポーツの道具を紹介。

篠田選手、サッカー専門新聞に登場



サッカーで活躍していた塚本泰史選手が、骨肉腫のために足の筋肉部分を切除、以来、地道にリハビリを続けておられるとのこと、半年たって、ようやく、走れるようになって来たという。

その塚本選手が、パラ・スポーツを自ら体験し、パラ・スポーツを紹介しようと言う、企画。

ジャパンカップ 65 kg級 3位となった篠田選手が、塚本選手にパラ・パワーの指導を行い、対談。

障がいとの付き合い、将来の夢、など、様々な話題に花が咲く。

京都合宿

月に二回、定期的に行われる京都合宿、11月には、アンチドーピングの復習講習会開催、世界選手権に向けて、合同トレーニング。また、京都では、障がい者スポーツ推進協会などの団体が発足、様々な角度からパラ・パワーを支援していただいている。これに、答えるべく、11月、メキシコ大会に連盟選手19名が、世界に挑む。

パラ・パワー競技に触れよう

サンアビ 城陽市 東京五輪日本代表選手来場

2020年東京パラリンピックに向け、れる、事前申し込みも参加費も無料。パラ・パワーフェスティバルのシヨナルトレーニングセンターで、本を代表する選手との練習体験も体験も予定されている。

障がい者スポーツの支援リハビリ医療の共生を目指して、活動する民間団体「障がい者スポーツ」京都ネットワーク

【障がい者スポーツ】
会長：クワダ 隆夫
副会長：山内 隆夫
事務局長：山内 隆夫
代表：山内 隆夫
副代表：山内 隆夫
常務理事：山内 隆夫
副常務理事：山内 隆夫
監事：山内 隆夫
顧問：山内 隆夫
賛助会員：山内 隆夫

【障がい者スポーツ】
会長：クワダ 隆夫
副会長：山内 隆夫
事務局長：山内 隆夫
代表：山内 隆夫
副代表：山内 隆夫
常務理事：山内 隆夫
副常務理事：山内 隆夫
監事：山内 隆夫
顧問：山内 隆夫
賛助会員：山内 隆夫

